

# 令和5年度 放課後等デイサービス自己評価結果を公表します。

## 旭川荘真庭地域センターさくら

### 職員による自己評価

#### □環境面

評価が高かった。

#### □業務改善

支援に対してその都度振り返りはあるが、全員参加での振り返りの時間は設けることができていない。研修について、人員の関係から参加しにくいと思っていることが分かった。

#### □適切な支援の提供

アセスメント方法が独自のものになっている為、様式の改善が必要である。利用回数が少ないことで活動プログラムの組み立てが難しいが、支援スタッフに加え、リハスタッフの意見を取り入れるようにしている。役割分担など、その日の支援についての打ち合わせがスタッフ全員できていない。

#### □関係機関や保護者との連携

学校訪問や事業所の見学など、他事業所との連携は行えているが、障害のない子どもと活動する機会をつくることができていない。

#### □保護者への説明責任

概ね高評価であるが、保護者、家族への適切な支援ができているかについて、どちらでもないと感じているスタッフがいた。今年度は感染症の流行により実施できていなかった茶話会を開催し、保護者同士が集い悩みや話ができる機会を提供することができた。

#### □非常時の対応

内部研修での虐待防止やBCP(業務継続計画)研修により意識を高めることができた。

### 保護者による評価

回答なし

### 事業所内での分析

- 環境面、保護者への説明責任等については概ね良い評価となっている。
- 障害のない子どもとの交流ができていない。
- アセスメント方法や活動プログラムの組み立てについて課題がある。
- 家族に対して必要な助言や支援が行えているか分からないと感じている。
- 保護者との連携については個別の支援に加え、茶話会等の保護者同士のつながりが持てる機会を提供したいと感じている。
- 活動や支援に対する打ち合わせや役割分担が不十分と感じている。

分析・検討してみても…

### 事業所の強み

- ・環境、設備面で充実している。  
(バリアフリー)
- ・入浴サービスがある。
- ・専門スタッフが勤務(PT、OT、看護師等)
- ・医療ケアの必要な児を受け入れることができる。
- ・自立支援協議会の協議に定期的に参加している。
- ・施設内研修を定期的に行っている。
- ・ICTの活用がすすんでいる。

### 事業所の改善点

- ・支援に対する打ち合わせや振り返りの時間の確保ができていない。
- ・研修に参加しやすい環境づくり。
- ・アセスメント様式の見直し。
- ・家族の交流会や茶話会等の保護者同士、スタッフが関わり合える時間づくり。

### 事業所の改善への取り組み

- 地域の行事や公共機関を利用し、地域とつながりを持つ。
- 本人、家族が参加できる行事を開催し、情報共有や交流の場を提供する。
- 定期的な支援会議に加え、日々の支援や役割について共有する時間の確保に努める。
- 資質向上の為、スタッフが積極的に研修に参加できるような環境を整える。

### ～自己評価を行っての事業所としての感想など～

今年度は、4年ぶりに保護者の集う場「茶話会」を開催することができました。ご家族同士が集い、近況や情報交換を行う中でもっと知りたい、学びたいテーマがたくさんあるという事が分かりました。地域で暮らす一人、仲間としてこのような場が必要であると改めて実感しています。日々の支援に関しては、役割分担や振り返りの時間の確保を具体的な取り決めをして取り組んでいきたいと思えます。また、アセスメントの様式の改善を行い、誰が見ても分かりやすいものを使用することで共通理解を図ります。

ご家族の皆様には、平素より当センターの運営に際して、ご支援ご協力頂きありがとうございます。今後も充実したサービスをご提供できるよう見守って頂ければ幸いです。

		チェック項目	はい(人)	どちらとも いいない (人)	いいえ(人)	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4			
	2	職員の配置数は適切であるか	4			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4			事業所全体がバリアフリーである
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	2	2		その都度の振り返りはあるが、それに参加できている実感が持ちにくい。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3		1	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3		1	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	1	1	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	2	2		勤務時間内での研修参加が難しい。現場職員の人員の関係で研修に参加しにくいことがある。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	1		
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	1	1	独自のアセスメント方法になっている。様式の改善が必要。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4			支援スタッフに加え、リハスタッフの意見も取り入れるようにしている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	1		固定化のないように工夫しているが利用回数が少なく、組み立てが難しいことがある。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	2	1	1	利用回数が少ない為、課題の抽出や継続した支援に工夫が必要。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	1		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		4		送迎業務以外のスタッフで確認し合えるように主となるスタッフを決めておく工夫が必要。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		4		毎日の決められた振り返りの場はない。スタッフ間での確認や支援会議の中で振り返りを行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4			支援記録にソフトを活用。タブレット等ですぐに記入や見直しができるようになった。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4			
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	3			無回答1	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	4			計画作成を担当する職員が会議に参加している
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	4			下校後に利用する児がいない。学校への訪問を実施し、情報共有を行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4			医療ケア指示書により、緊急時や医療ケアに対するマニュアルを作成している。また、必要な情報は本人の受診時に伺ってもらうようにしている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	1	1	就学に該当する児童がいない。他事業所を利用している児に関しては支援会議等で情報共有している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3			無回答1 該当児はなし
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1		3	旭川荘内指導看護師より、指導を受けている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		1	3	行えていない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4			自立支援協議会子ども子育て部会に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4			連絡帳や送迎時にやりとりができるようにしている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	1	2	保護者と職員が集う茶話会を実施している。今後は講師による学びの場の提供も行っていきたい。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3	1		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4			一年を通して家族会行事や定例会を実施している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4			センター通信や事業所の広報誌を定期的に出している。
	35	個人情報に十分注意しているか	4			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	3	1		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4			年1回、地域の人を招いてのイベントを開催
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	1		個別に緊急時の対応マニュアルは作成、家族の同意を得ている。マニュアルの存在は保護者に知らせている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3	1		センター全体での避難訓練に加え、放デイ利用者在籍の土曜日に避難訓練や学びの機会をつくっている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4			虐待防止、人権についての研修会を内部で実施
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	2		1	対象児はなし
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	1		対象児はなし
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4			ヒヤリハットシートに記入し、その都度全職員で振り返りをして対策を行っている。